

大会第2日(8月18日)午前 口頭発表

時間帯	A会場(3-255教室)			C会場(3-145教室)		
	番号	発表者	発表題目	番号	発表者	発表題目
9:00 ~ 9:15	2A-1	仁木雅彦	小中学校教科書における「地層」の学習内容と指導・評価問題	2C-1	米澤正弘	高校「地学基礎」でのフィールドワークの実施
9:15 ~ 9:30	2A-2	廣木義久・鏡畑 悠	小学校第6学年の地層の学習のためのドーナツ型水槽を用いた実験	2C-2	久田健一郎・植村元裕・川端慧・奈良井舜・本間龍之輔	総合的な科目理科の変遷と必要性
9:30 ~ 9:45	2A-3	三次徳二	実物大写真と標本を組み合わせた「流水の働き」教材の有効性の検討	2C-3	高橋 唯	室戸高校におけるジオパークを活用した学習例ー高校生が地域の遺産を守るために行った取り組みについてー
9:45 ~ 10:00	2A-4	坂田尚子・池谷 渉・菅原大助・山田和芳・熊野善介	博物館における小学生を対象としたSTEM教育プログラムの開発と実践ー地球科学に関する素材をテーマとしてー	2C-4	小野寺弘幸	岩手県産を主体とする示準化石を用いた授業実践
10:00 ~ 10:15	2A-5	岡 雄介・吉本直弘	1日における天気の変化の仕方とその出現頻度の調査 小学校理科第5学年「天気の変化」に関連して	2C-5	和田充弘	高校生が出遭った「2018年大阪府北部の地震」
10:15 ~ 10:30	2A-6	間處耕吉・吉富健一	視点移動能力を高める小学校「月の満ち欠け」の指導	2C-6	中西裕也・磯崎哲夫・林 武広	高等学校の地学教育における防災教育の変遷 理科教育系雑誌の分析から
10:30 ~ 10:45	休 憩					
10:45 ~ 11:00	2A-7	吉本直弘・小掠達郎	中学校理科教科書における梅雨前線とそれによる災害に関する内容の	2C-7	荒井 豊・平松達也	地学教材の視点移動能力育成が児童生徒の学校生活に及ぼす教育効
11:00 ~ 11:15	2A-8	大友幸子・奥山遥香・御子柴真澄	山形市周辺の流紋岩教材とその特徴	2C-8	吉富健一	小中学生にむけた防災教育教材(土砂災害)の開発
11:15 ~ 11:30	2A-9	高橋 修	砂岩の間隙率と続成作用についての中学生のイメージー泡はどこから湧いてくるのか?ー	2C-9	梅田真樹・佐々木明世	なぜ幼児は石を拾うのか
11:30 ~ 11:45	2A-10	細田直人・永吉 航・宮本直樹	霞ヶ浦流域小野川を基軸とした河川学習ー観測地を「点」、川を「線」、流域を「面」として捉える視点を導入し	2C-10	松本一郎	幼児期からの地学教育～泥団子保育とジオパークの活用～

お願い

・発表者の許可なくスライドなど発表物の写真・ビデオ撮影することはご遠慮ください
 ・発表時には、パソコンとケーブルの接続時間を含みます。発表者は事前にパソコンの接続・投影状況をご確認ください。
 また、発表終了時刻までには速やかにパソコン取り外してください。

11:45 ~ 12:00	2A-11	中西裕之・ 矢崎義直・ 下田治信・ 榊原保志	移動式プラネタリウムを用いた日周 運動・年周運動の学習 - 中学校理 科における試行授業実施報告 -	2C-1	古谷 裕・清 水文美・高 瀬優子	教材としての石ころ
---------------	-------	---------------------------------	--	------	------------------------	-----------

大会第2日(8月18日)午後 ポスターセッション・コアタイムⅡ、閉会行事

時間帯	A会場(3-255教室)	C会場(3-145教室)
12:45 ~ 13:45	(ポスターセッションコアタイムⅡ:ポスター会場)	
13:45 ~ 14:15	閉会行事	